

セカンドハンド
北海道

私は高松1号店 OPEN のときに設立者(新田恭子氏)に出会い、ショップを手伝うようになり、自分でも関われる場があることを知りました。そして、2000 年春まで高松でボランティアスタッフをしていたのですが、北海道に引っ越しになり、何かこちらでできることはないかと、高松の活動を参考にフリマに参加したのが「セカンドハンド北海道」のはじまりです。それからはロックフェスやフェアトレード、国際協力関係のイベント参加中心で活動してきました。私は一時期関東に引っ越し北海道を離れたのですが、アースデイに出店した時にカンボジア商品に興味を持ってくれた Y さんと大学生の時からスタッフとして関わってくれている F さんが中心となり活動を続けてくださったので、戻ってきた現在も参加できています。イベントに参加して、お客様とのやりとりを楽しむのはもちろん、様々な活動に取り組んでいる他団体のスタッフさんとの交流からも刺激を受けています。(スタッフ O)

セカンドハンド
駒ヶ根

2 月に社会人向けの異文化理解講座を担当させていただき、前号のニュースレター (Sambot vol.111) を教材としてワークショップを行いました。「まずは途上国の現状を知ることが大事だと思った」「自分にできることを探したい」等の感想があり、参加者にとって学びのある時間となりました。また、2022 年度は、イベント出店 (10 回) と講師派遣 (3 回) で得た収益金で、カンボジアの子どもと女性の自立支援として 167,915 円を充てることができました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。2023 年度も引き続き活動を続けていきます!

セカンドハンド
ユース

2022 年度は、皆様からの温かいご支援のおかげで 248,008 円を支援することができました。ありがとうございました。今年度は「多くの人と交流する」をテーマに新たに活動していきます。これまで私たちは自分達で人を集め募金活動やイベントを行ってきました。引き続き継続していきますが現在、感染症の流行が落ち着きつつあることにより地域のお祭りやイベントが再開し始めました。人が集まる場所に行き広報するなど “今” 出来ることを見つけ活動することに力を入れたいと思います。(沖田・菅原)



12月～2月までの3ヶ月間にご寄付をくださった方々です。【順不同・敬称略】

青井恵子、青野千恵子、伊賀恵子、池内保、泉幸江、伊藤祐喜子、鶴川利恵、大谷芳見、大波美芽子、岡野道子、岡本洋功、柏原裕美、片山嶺、鎌田守恭、亀山誠子、川崎多恵子、久保智枝、吳妙専、小林規子、近藤温子、四国物産株式会社、清水博子、下地初子、四宮香代、白川ふみ、中澤一誠、高木美枝子、田中正利、田村美津子、依恵美、塚田泰代、辻よしみ、中井富美子、中澤力、中村凱次、西川秋美、西川亜里、西川三枝子、西川みさこ、新田薫、沼田章、のぞみ総合法律事務所、長谷文子、秦和美、林田物流株式会社、久松恵津子、平田渥子、堀美紀子、真嶋由岐夫、松尾加代子、松原志乃、三木佳子、美濃吉広、宮本弥生、宮本明宜、山本博美、弓削田裕子、横田千春、吉田莞爾、吉本房子、米山太、若杉淳子、若宮武、渡部御千子、渡部豪

Cambodia
memo

首都プノンペンには、クメール語で「ベン婦人の丘」という意味。「東洋のバリ」と謳われたフランス植民地時代の美しい街並みが残っている。

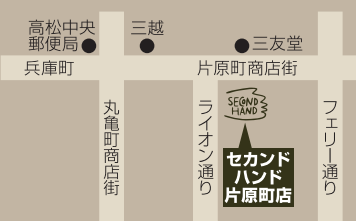
本部・高松店

〒760-0055 高松市観光通1-1-18
TEL: 087-861-9928
営業時間: 月～金 10時～16時
定休日: 土曜、日曜、祝日



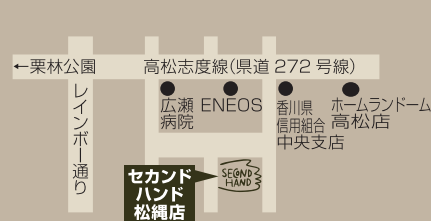
片原町店

〒760-0040 高松市片原町9-1
TEL: 087-822-3552
営業時間: 月～金 10時～18時
土・日・祝日 10時～17時



松縄店

〒760-0079 高松市松縄町37-5
TEL: 080-4999-0494
営業時間: 土～水 11時～18時
定休日: 木曜、金曜、祝日



セカンドハンドは「チャリティショップ」と呼ばれるお店を運営し、その収益でカンボジアの支援をしています。

公益社団法人セカンドハンド

〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928
✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://2nd-hand.main.jp/sh/



Sambot

セカンドハンド通信

香川大学教育学部附属高松小学校の皆さんがセカンドハンドに来てくれました。1年生～6年生の縦割り学級で構成された赤3組の皆さんは、国際理解や国際協力をテーマにプロジェクトを実施しています。他国の現状を知り、自分たちができることを考え取り組む過程で、セカンドハンドでのボランティア活動をしてくださいました。また、校内で実施した募金活動で集まったお金をご寄付頂きました。セカンドハンドからは、お礼の気持ちを込めて、感謝状を贈呈しました。



Contents

フェアトレード商品新商品紹介 / 提供品募集のお知らせ
香川県内の子ども食堂支援
Network / Special Thanks

写真提供: 香川大学教育学部附属高松小学校

Women's
Independence
Support
女性の
自立支援

ラチャナ・ ハンディクラフト ボタンバン州



セカンドハンドでは、20 年にわたり、ラチャナ・ハンディクラフトで手作りしているクラフト品をフェアトレード商品として仕入れ、各店舗やイベント等で販売しています。この事業では、これまでに 200 種類を超える商品を開発し、今でもそのほとんどを商品として取り扱っています。



2020 年からは、これまで商品に使用してきたシルクや伝統柄のコットン生地以外に、サロンの生地を使った商品の制作にも取り組んできました。多くの方に手にとりただけそうな 10 種類の商品を試作品として日本に仕入れ、数年かけて店舗やイベントで試し販売を行ってきました。いよいよ 2023 年、それぞれの商品の売れ行きや、手に取ってくださる方々の反応を参考に、7 種類の商品の商品化を決定しました。今夏には色柄豊富に入荷する予定です。ぜひ店頭でご覧ください。



【サロン】
自宅で寛ぐ時に腰巻きとして使われる。田植えなどの外仕事をする際にも大活躍。

Charity Shop
チャリティ
ショップ



提供品募集

県内3店舗のチャリティショップで販売する品物を募集しています。日々、全国より提供品が送られてきていますが、特にインテリア雑貨や石鹸・タオル等の日用品、食器が人気で品薄状態が続いています。皆様からのご提供、お待ちしております。
※ご提供の際は、「品物提供受付リスト」をご覧ください。

高松店で提供品の受付をしています。直接店舗に持参して下さる方や県外から送って下さる方までいらっしゃって、毎日たくさんの品物を受け取らせて頂いています。「1点だけで申し訳ない」と持ってきて下さる方がいるのですが、そのお気持ちがとても嬉しいんです。1つでもわざわざ足を運んで持ってきてくれたんだなって。「こんなもの売れないのでは？」と謙遜しながら提供される方も多いのですが、いざお店に出すとあっという間に売れてしまうなんてこともよくあります。最近では、遺品整理などで家の片付けをする方が増えていると聞きますよね。自分にとって不要になった物を、捨ててしまったらそれで終わりだけど、『提供する』という行動に変えると、その品がまた必要な方の手に渡って活かされたり、売上がカンボジアの支援になったりしていくんです。こうやって誰かの役に立つ場所があるということを、ぜひ多くの方に知ってもらいたいなと思っています。



お店番ボランティア
釜笠さん

Emergency
Support
緊急支援



香川県内の子ども食堂支援



まんまるサポート理事大廣さんへ支援金のお渡し



【まんまるサポート(高松市宮脇町) 理事 大廣さん】
様々な要因で困難を抱えている子どもたちの居場所を作り、週に 4 回、学習支援と食事の提供を行っています。支援が必要な子どもには専門機関と連携して対応しています。参加する子どもは 5 人前後で、退職者のボランティアや大学生がお世話しています。また、企業などから支援を受け、食料品を配るフードパントリーも始めています。食材費や光熱費、大学生の活動謝金に活用できる助成金を得るための苦労もありますが、子どもたちと継続的に関わることで子どもたちの成長を見られることにやりがいを感じています。

【あそび舎どんぐり(高松市六条町) 清水さん】
昨年 5 月から集会所で月一回食事の提供を開始しました。今年の 4 月からは、コミュニティセンターでの活動も始めます。広くどんぐりキッチンの活動を知っていただき、参加する誰もが自分のペースで楽しめる空間にしたいです。ボランティアは、地区集会所で約 10 人います。参加するのは、子どもが 40 人前後、大人を含めると 50 人前後です。コミュニティセンターでは、参加者自身もボランティア活動をする全員参加型の活動にして約 60 人を予定しています。参加する皆さんの『今日も楽しかったよ。ありがとう』の笑顔が嬉しいです。運営面では、会場使用料や食材の購入費などで苦労が多いです。セカンドハンドからの食材購入費支援はとても助かります。



清水さん(右上)

<助成団体一覧>

りこのキッチン、ひみつきちてつや(多度津町)、みき子ども食堂(三木町)、ぬくぬくごはん会、まんまる食堂<まんまるサポート>、レスパスラボ、ふれ愛食堂(三豊市)、あそび舎どんぐり、ゆうゆう食堂、子ども食堂(丸亀市土器町)※市町名のない食堂は全て高松市内

セカンドハンドの 2023 年度事業計画・予算をお知らせします

2023 年 2 月 23 日に理事会を開催し、2023 年度の事業計画・予算を決定しました。
2020 年からの 3 年間はセカンドハンドにとって大変厳しいものでしたが、ふだんの暮らしが戻る（と切に願っています）2023 年度には、カンボジア訪問を再開し、現地の状況を皆様と共有させていただく予定です。

<新しい取り組み>

■保健衛生プロジェクト■

バットンバンの現地 NGO ホームランドと連携し、フォスターペアレント制度で支援する貧困家庭の保健衛生の向上を図る事業を開始します。セカンドハンドは 2017 年から 2019 年までホームランドで保健衛生指導者育成に取り組みましたが、その後の 3 年間も貧困家庭の保健衛生向上に取り組んできました。来年度は、専門家とともに現地を訪れ、保健衛生の課題の抽出と改善策を検討します。（2024 年度までの 2 年間実施予定）

■小学校建設■

セカンドハンドは 2024 年に創立 30 周年を迎えます。30 周年を記念して小学校建設を行うため、23 年度から支援校の検討を始め、年度内に支援する学校を決めていきます。

<その他の支援事業>

教育支援では、奨学金支援を、子どもの自立支援として、フォスターペアレント事業、マラウイの OAU への支援を継続します。

女性の自立支援としては、現地 NGO ラチャナハンディクラフトバットンバンを支援。女性たちの製作したクラフト品をフェアトレード商品として販売します。

ロシアのウクライナ侵攻が引き起こした物価上昇でカンボジアの子ども、香川県の子どもの依然苦しめられていることから、緊急支援は 23 年度も継続します。（ホームランドへの食糧支援及び子ども食堂支援）

<事業予算>

2023 年度の予算総額は、約 1800 万円。前年度より 60 万円減少しています。
支出では、人件費を減額し、高騰する光熱水費を増額、収入ではチャリティショップの売上予算を増額しました。

<p>支援のお願い 皆様の善意の手を差し伸べてください。同封の振込用紙に、チェックしていただくとご趣旨に沿って支援させていただきます。</p>

■告知版■

<ぜひお譲りください>

紙袋（大中小いずれでも、店舗でお客様のために使います。特に片原町店で足りなくて困っています）

未使用切手・はがき（郵便書簡に交換し、ニュースレターの郵送に使います。今号も皆様に頂戴した切手・はがきを交換した郵便書簡を使ってお送りしています）

B5 用紙（500 枚単位未開封 この「ニュースレター別紙」の用紙）

A4 用紙（500 枚単位）、スティックのり（郵便書簡の糊付け）

液状のり、ハンドソープ、トイレットペーパー、輪ゴム、ホッチキス針（以上、未使用品）

<ありがとうございました> 電動シュレッダー1 台、頂戴しました。

<夏物衣料大募集中>

4 月下旬から夏物衣料を販売しますが、商品（提供品）が少なく困っています。

ご家庭に不要なものがありましたら、ぜひご提供ください。（8 月まで）

<提供品をお送りいただく際に気を付けていただきたいこと>

① 衣類の提供は時期を指定させていただいています。

セカンドハンドは倉庫を持たないので、そのまま店舗に出せるものをお願いしています。

② 提供品受付リストが改訂されています。

下記のリンクからリストをご確認いただいた上で、ご提供ください。

新品のみ受け付け、となっている品物があります。ご注意ください。

<http://2nd-hand.main.jp/sh/join/gift/>

お店番ボランティア急募（お知り合いをご紹介ください）

チャリティショップを手伝ってくださるボランティアを募集しています。お店番では、店頭での接客や品出し、会計等の作業をしていただきます。